

令和 5 年度

「運営に関する計画」

大阪市立西中島小学校

令和 5 年 4 月

大阪市立西中島小学校 令和 5 年度 運営に関する計画・自己評価 (総括シート)

1 学校運営の中期目標

現状と課題

- ・令和 5 年度の児童数が 54 名の小規模校である。全校児童が互いに知り合った関係であり、他学年の児童に対しても思いやりのある子ども達である。
- ・生活指導に関する部分では、安全な学校生活を過ごす上で長年課題となっていた廊下・階段を正しく右側歩行することについても、一人一人の子どもが意識するようになっている。互いに声をかけあって安全に過ごす態度も養われている。引き続き定期的な強調週間を設けながら安全に過ごせるように進めるとともに、自ら挨拶すること、時間を守って行動する力をはぐくめるようにしたい。
- ・家庭でのゲームやスマートフォン、SNS の活用時間が長くなったり、使用に伴うトラブルも起こったりしている。情報モラル教育や適切な使用ができるよう指導するとともに、家庭と連携した取り組みとして「おうち時間パワーアップ表」を活用し、日々の時間の使い方も改善できるようにしたい。
- ・令和元年度から 3 年度まで、国語科教育の研究実践「生きて働く言語活動～主体的・対話的で深い学び～」を主題に授業づくりを進め、子どもたちが考えをもち、交流することを通して多面的なものの見方ができ、深い学びを醸成することにつながった。また、国語科だけでなく、学習活動全体を通して考えをもち、意見交流する姿が見られるようになっている。
- ・令和 4 年度大阪市学力経年調査の結果をみると、国語科・算数科共に、ほぼ標準化得点 1.0 となっている。
- ・令和 4 年度からは、算数科教育の研究に取り組んでいる。授業において積極的に取り組む児童が多いが、基礎的な計算処理をする力や自主的に問題に取り組むことに課題が見られている。また、重さや長さなど、生活のなかで実感したり、興味・関心をもって数量の関係に着目したりすることが難しいと考える。そのため、新たに「ぐんぐんタイム」を設けて継続的に基礎的な計算問題に取り組ませ、子ども達一人一人が計算を確実にできる力を養い、普段の算数学習でも積極的に問題に取り組めるような姿を目指す。また、朝学習や、午後の一人一台端末を活用した学習で基礎基本の定着を図るようにする。
- ・読書週間や図書館開放により、読書に親しむ児童が一定の読書時間を確保できているが、10 分以下や全く読書時間のない児童もいる。令和 3 年度まで取り組んだ国語科研究に基づいた多読につながるような授業づくりや、毎週火・木・金曜日に読書タイムを設定する。また、図書館司書とも連携した図書室の環境づくりに取り組み、毎日 10 分以上読書に親しむ子どもをはぐくむ。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

- 令和4年度から令和7年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を毎年95%以上にする。
- 令和7年度の全国学力・学習状況調査における「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える児童の割合を80%以上にする。
- 令和7年度の全国学力・学習状況調査における「将来の夢や目標を持っていますか」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える児童の割合を80%以上にする。
- 令和7年度の全国学力・学習状況調査における「1日における読書時間」の項目について、「10分以上」と答える児童の割合を50%以上にする。
- 令和7年度末の保護者アンケートにおける「学校は情報公開をよく行っている」と答える保護者の割合を80%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 令和7年度の全国学力・学習状況調査における知識に関する問題の正答数が全国平均の7割に満たない児童の割合を、10%以下にする。
- 令和7年度の全国学力・学習状況調査における無回答率を10%以下にする。
- 令和7年度の全国学力・学習状況調査における「書くこと」「読むこと」に関する項目の平均正答率を全国平均の5%以内にすること。
- 令和7年度の小学校学力経年調査における標準化得点を、全学年100以上にする。
- 令和7年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して最も肯定的な「している」と答える児童の割合を35%以上にする。
- 特に課題である50m走の記録を、令和7年度の全国体力・運動習慣調査において、令和3年度より0.5ポイント向上させる。

【学びを支える教育環境の充実】

- ぐんぐんタイム（毎日5分間基礎・基本の学習時間）での学習者用端末を活用した学習を週2回以上実施する。（学習者用端末とプリント学習の併用も行う）
- 「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準1を満たす教員の割合を80%以上にする。

2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【安全・安心な教育の推進】

全市共通目標（小・中学校）

- ・ 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 90%以上にする。
- ・ 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。
- ・ 年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。

学校園の年度目標

- ・ 校内アンケートにおける「互いに助け合い、人への思いやりをもつことができた」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を 70%以上にする。
- ・ 校内アンケートにおける「学校のきまりを守ることができた」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を 80%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

全市共通目標（小・中学校）

- ・ 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 35%以上にする。
- ・ 小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 1 ポイント向上させる。
- ・ 小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 80%以上にする。
- ・ 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることが好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を 55%以上にする。

学校園の年度目標

- ・ 児童が主体的に質問したり、考えを発表したりする授業展開ができるようにする。（校内児童アンケートで 60%以上になるようにする）
- ・ 心身ともに健康で、主体的にすすんで運動や健康づくりに取り組むことができる子どもを育てる。（校内児童アンケートで健康にかかわる項目すべてで 70%以上）

【学びを支える教育環境の充実】

全市共通目標（小・中学校）

- ・ ぐんぐんタイム（毎日 5 分間基礎・基本の学習時間）での学習者用端末を活用した学習を週 2 回以上実施する。（学習者用端末とプリント学習の併用も行う）
- ・ 「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準 1 を満たす教員の割合を 80%以上にする。

学校園の年度目標

- ・ ぐんぐんタイムでの計算問題を中心に、2 年生以上で週 2 回以上学習者用端末を活用した学習活動を実施する。
- ・ ゆとりの日を月に 2 回以上設定・実施する。

3 本年度の自己評価結果の総括

(様式 2)

大阪市立西中島小学校 令和 5 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
	C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成 状況
【最重要目標 1 安全・安心な教育の推進】 全市共通目標 (小・中学校) <ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 90% 以上にする。(92.9%→85.1%) ・ 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。(6.15%→3.7%) ・ 年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。(100%→75%) 学校園の年度目標 <ul style="list-style-type: none"> ・ 校内アンケートにおける「互いに助け合い、人への思いやりをもつことができた」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を 70% 以上にする。(Q3 75%) ・ 校内アンケートにおける「学校のきまりを守ることができた」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を 80% 以上にする。(Q4 81%) 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗 状況
取組内容①【基本的な方向 1、安全・安心な教育環境の実現】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 定期的な強調週間を設けながら安全に過ごせるように進めとともに、自ら挨拶すること、時間を守って行動する力をはぐくめるようにする。(安全教育の推進) 	
指標 校内児童アンケートにおいて肯定的な回答をする児童を 7 割以上にする。 (Q6 92%)	
取組内容②【基本的な方向 1、安全・安心な教育環境の実現】 <ul style="list-style-type: none"> ・ スクリーニングの実施や児童一人一人に寄り添った不登校要因への対応及び学習機会の確保を進める。(不登校への対応) 	
指標 学校内外での ICT を活用した学習日数、出席日数、連絡日数のいずれかを前年度より増加させる。	
取組内容③【基本的な方向 2、豊かな心の育成】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 道徳の授業を充実させ、互いの違いやよさを認め合えるようにする。(道徳教育の推進) 	
指標 人権週間に全体で「いいところみつけ」に取り組む。また、いじめについて考える日に、道徳の授業でいじめに関する教材に取り組み、児童たちが考える機会を設ける。	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

①

②

③

後期へ向けての改善点

①

②

③

(様式2)

大阪市立西中島小学校 令和5年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A:目標を上回って達成した B:目標どおりに達成した
C:取り組んだが目標を達成できなかった D:ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>全市共通目標(小・中学校)</p> <ul style="list-style-type: none">・小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を35%以上にする。(41%)・小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント向上させる。・小学校学力経年調査における「外国語(英語)の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。(65.9%)・小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることが好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を55%以上にする。(58.9%) <p>学校園の年度目標</p> <ul style="list-style-type: none">・児童が主体的に質問したり、考えを発表したりする授業展開ができるようにする。 (校内児童アンケートで70%以上になるようにする)(Q17「進んで質問したり、考えを発表したりする。」80%)・心身ともに健康で、主体的にすすんで運動や、健康づくりに取り組むことができる子どもを育てる。(校内児童アンケート Q25「手洗いはきちんとできていますか。」の項目で75%以上に達する。) (令和4年度 98%)	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向4、誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>主体的に考えを発表したり、質問したりする子どもをはぐくむようにする。 (主体的・対話的で深い学びの推進)</p> <p>指標 授業アンケートにおいて、「Q17 進んで質問したり、考えを発表したりする」の肯定的な回答が70%以上となる。(Q17 80%)(Q18「友達との話し合い活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか。」79%)</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向5、健やかな体の育成】</p> <p>自ら体を動かすことの喜びと出会い、体を動かすことの喜びを知り、進んで体力づくりに取り組む子どもを育てる。 (体力・運動能力向上のための取組の推進)</p> <p>指標 ・児童が休み時間に運動場で遊ぶことが可能な日数の中で、校内児童アンケート</p>	

<p>の「Q23 積極的に体を動かすことができた」と肯定的な回答が 80%以上にする。 (Q23 87%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体育の授業において「課題・ふりかえりの時間をもち、技能・思考判断・態度が高まるような授業づくりを実践できた」とする指導者の肯定的な回答を 90%以上にする。(100%) 	
<p>取組内容③【基本的な方向 5、健やかな体の育成】</p> <p>生活習慣チェックリストを基に自分の健康を考え、自ら実践する子を育てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手洗い・うがいの習慣化を図る (規則正しい生活習慣) 	
<p>指標 週 1 回清潔調べを行い、基本的な生活習慣としての手洗いを徹底する。アンケート項目、「手洗いはきちんとできていますか。」において、肯定的な回答を各 75%以上にする。(令和 4 年度 98%)</p>	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>①</p> <p>②</p> <p>③</p>	
<p>後期へ向けての改善点</p>	
<p>①</p> <p>②</p> <p>③</p>	

(様式 2)

大阪市立西中島小学校 令和 5 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成 状況
【最重要目標 3 学びを支える教育環境の充実】 全市共通目標 (小・中学校) <ul style="list-style-type: none"> ・ぐんぐんタイム (毎日 5 分間基礎・基本の学習時間) での学習者用端末を活用した学習を週 2 回以上実施する。(学習者用端末とプリント学習の併用も行う) ・「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準 1 を満たす教員の割合を 80% 以上にする。 学校園の年度目標 <ul style="list-style-type: none"> ・ぐんぐんタイムでの計算問題を中心に、2 年生以上で週 2 回以上学習者用端末を活用した学習活動を実施する。 ・ゆとりの日を月に 2 回以上設定・実施する。 ・令和 5 年度の小学校学力経年調査・校内児童アンケートの「読書は好きですか」・「すすんで読書ができましたか」のいずれかの項目について、肯定的に答える児童の割合を、前年度より増加させる。(小学校学力経年調査令和 4 年度 74.5%・校内児童アンケート令和 4 年度 77%) 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗 状況
取組内容①【基本的な方向 6、教育DX (デジタルトランスフォーメーション) の推進】 ICT機器を使用して、説明力を高めるなど表現の幅を広げたり、端末を活用した学習に取り組んだりする。 (ICTを活用した教育の推進) <hr/> 指標 ICT機器を活用して、説明や自分の考えを発信したり、他者の情報を受けて、意見交流をしたりする場を設定したり、デジタル教材を活用したり、プログラミングに取り組んだりする総時数を、1 年は年間 10 時間以上、2～3 年は年間 12 時間以上、4～6 年は年間 15 時間以上実施する。(各学年 100 時間以上)	
取組内容②【基本的な方向 7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 <ul style="list-style-type: none"> ・ゆとりの日を設定し、時間外勤務時間を減らす。 <hr/> 指標 ・ゆとりの日を月に 2 回以上設定・実施し、教員の一人当たり平均時間外勤務時間の自校と大阪市平均より短縮させる。	
取組内容③【基本的な方向 8 生涯学習の支援】 <ul style="list-style-type: none"> ・学校司書とも協力し、読書に対する興味関心を高め、読書好きな児童を増やす取り組みを行う。 <hr/> 指標 ・学期に 1 回、図書に関する取り組みを行う。	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

①

②

③

後期へ向けての改善点

①

②

③
